

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備	担当部局庁	科学技術・学術政策局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度	担当課室	産業連携・地域支援課	産業連携・地域支援課長 里見 朋香			
会計区分	一般会計	施策名	VII-1. 科学技術関係人材の育成及び科学技術に関する国民意識の醸成				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	新成長戦略(平成23年6月18日閣議決定) 第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	大学等において、研究開発内容について一定の理解を有しつつ、研究資金の調達・管理、知財の管理・活用等をマネジメントするリサーチ・アドミニストレーターの育成・定着をすすめ、大学等における研究推進体制の充実強化を支援することにより、研究者の研究活動活性化のための環境整備及び大学等の研究開発マネジメント強化等を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	スキル標準の策定、研修・教育プログラムの整備など、リサーチ・アドミニストレーターを育成し、定着させる全国的なシステムを整備するとともに、研究開発に知見のある人材を大学等がリサーチ・アドミニストレーターとして活用・育成することを支援し、研究マネジメント体制の強化等を推進する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算				1,141	1,141
		補正予算				-	-
		繰越し等				-	-
		計				1,141	1,141
	執行額				-		
執行率(%)				-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位 21年度 22年度 23年度 目標値 (年度)	本施策による成果は、各大学等のリサーチ・アドミニストレーターの整備構想や研究推進体制の整備構想に応じて異なるため、第三者委員会において、中間評価及び事業終了後に総合的な評価を行う予定。			
	成果実績	-		-	-	検討中	
	達成度	%		-	-	-	検討中
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位 21年度 22年度 23年度 24年度活動見込	リサーチ・アドミニストレーターの配置機関数			
	活動実績 (当初見込み)	-		-	-	15機関程度	
単位当たりコスト	(72.4百万円/リサーチ・アドミニストレーターの配置機関数)		算出根拠	研究支援体制整備費補助金(1,086百万円)を15機関で除して算出した			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	科学技術人材養成等委託費	48百万円	48百万円				
	研究支援体制整備事業補助金	1,087百万円	1,087百万円				
	諸謝金	3百万円	1百万円				
	委員等旅費	2百万円	2百万円				
	職員等旅費	1百万円	2百万円				
	庁費	2百万円	2百万円				
	計	1,141百万円	1,141百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	リサーチ・アドミニストレーターの育成・確保は、第4期科学技術基本計画においても推進方策として示されているとおり、国の政策としての優先度が高く、国の事業として実施し、定着を図るべきである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先は企画競争・公募を行い、外部有識者による厳格な審査の上選定し、公平性・透明性・競争性を確保していく。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	委託事業において、全国的なシステムを整備するためにスキル標準及び教育研修プログラムを作成すること、補助事業において、知見のある人材の活用・育成を支援することは、それぞれ実効性の高い手段である。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	他事業に係る行政事業レビューや事業仕分けの指摘事項等を踏まえ、効果的・効率的な事業運営を行っていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
本事業は、執行面における課題もなく、事業の成果目標も立てられていることから、適切な事業と認められる。引き続き迅速かつ適切な予算執行に努めること。			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	新23-0042

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省
1141百万円

諸謝金
委員等旅費
職員旅費
庁費

2.6百万円
1.6百万円
0.9百万円
2.1百万円

を含む。

リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保する全国的なシステムを整備するとともに、大学等において研究資金の調達・管理、知財の管理・活用等を総合的にマネジメントできるリサーチ・アドミニストレーターを育成・確保し、研究者が研究活動に専念できる環境の実現を図る。

【企画競争・委託】

【企画競争・委託】

【公募・補助】

A. スキル標準の策定
27.5百万円
大学等(1機関)

B. 研修・教育プログラムの整備
20百万円
大学等(1機関)

C. リサーチ・アドミニストレーション
システムの整備
1086百万円
大学等(15機関)

〔スキル標準の作成を大学に委託〕

〔研修・教育プログラムの作成を大学に委託〕

〔大学におけるリサーチ・アドミニストレーターの活用・育成を支援〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.大学等(1機関)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	@27.5百万円×1機関	27.5			
計		28	計		0
B.大学等(1機関)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	@20百万円×1機関	20			
計		20	計		0
C.大学等(15機関程度)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	@72.4百万円×15機関	1,086			
計		1,086	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0